

自然観察NOW

No.5

野幌森林公園自然情報

発行：2015年9月13日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

森の香りを嗅いでみよう<秋編>

◆森ではどんな香りがするのでしょうか？

森に行ったら、目を閉じて大きく深呼吸をしてみましょう。

どうですか？ 何か匂いがしませんか？ どんな匂いがしましたか？

キャラメル

歯磨き粉

う〇こ

お醤油

桜餅

何もしない

A B C D E F

(裏面へ続く)

A：キャラメル と F：お醤油 の場合

近くに「カツラ」の木があって、葉っぱが黄色味を帯びていませんか。

紅葉が始まる時期、カツラの木の前は甘い匂いに包まれています。「みたらし団子」や「プリン」の香りと感じる人もいます。この香りの成分は「マルトール」という物質で、砂糖を含むお菓子等の製造過程で生成されるものと同じと言われています。

カツラの葉っぱはかわいいハート型、そして実は小さなバナナのような形です。



B：桜餅 の場合

「サクラ」の葉っぱが遊歩道などに落ちて、踏まれたりしていませんか。

サクラは、葉っぱが虫にかじられたりして傷がついた時に「クマリン」という甘い香りがする物質を出します。この香りは私たちにとっては、食欲をそそる甘くいい香りですが、虫にとってはとても嫌な臭いなので、サクラは虫を避けるためにこの香りを発すると言われています。

C：歯磨き粉 の場合

「ハッカ（英語名：ミント）」はあまり森の中にはありませんので、虫よけのためにハッカ油のスプレーを使っている人が近くにいるのではありませんか。ハッカの爽やかな強い香りは、虫よけ効果も抜群です。

D：何もしない の場合

ひょっとして風邪をひいて鼻が詰まっていますか。（笑）

風があると匂いを感じるのは難しいものです。風の弱い、雨あがりの空気がよどんだ感じの日が、森の香りを嗅ぐには最適です。別の日にチャレンジしてみましょう。



E：う〇こ の場合

ひょっとしてイチョウの木から銀杏（ぎんなん）が落ちていませんか。

（もしくは本当に動物のう〇こかもしれませんのでご注意ください！）

イチョウは、オスの木とメスの木があって、銀杏がつくのはメスの木だけです。種についている果肉のようなものが悪臭の原因で、これは種子が動物に食べられないためとも言われています。一方で葉っぱ自体は香ばしい香りで、「ギンコライド」という強い抗酸化作用を持つ特有の成分が含まれていると言われています。

植物が放つ様々な香りには、自分の身や子孫を守るための秘密が隠れているようです。この他にも色々な匂いが森の中には溢れています。森の中ではぜひ匂いも嗅いでみましょう。

（文：あんばい たかし 写真：松井 玲子）

【10月の観察会のご案内】

☆「秋の森の匂いをかごう」観察会 10月15日(木)10:00～14:30（集合：北海道開拓の村入口）